

牛乳が届くまで

小学校第3学年

目標

牛乳などの農産物が生産され、手元に届くまでには、多くの人の思いや願いが関わっていることに気付く。

生活課題(または既学習内容など)

「働く人と私たちの暮らし」で生産・流通について学んでいる

	支援及び留意点 ①②：教師の問いかけ、◎留意点、●想定される児童の発言、→教師の発言	資料
導入	<p>①クイズです。牛乳は鮮度を大切にしているから、牛乳工場で牛を飼っている Yes? or No?</p> <p>→答えはNoですね。では牛乳の牛はどこにいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 牧場 <p>②牛乳は、皆さんの手元に届くまでにどんな場所を通過していると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 牛乳工場 ● トラックの中 <p>◎牧場から手元に届くまでに関わっていると思われる場所を自由に発言させる。</p>	1. クイズ(イラスト)
展開	<p>③牛乳が皆さんの手元に届くまでには、たくさんの場所でいろいろな人が関わっています。今から絵を見せます。</p> <p>→どこで何をしている人でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工場に牛乳を運んでいるのかな ● 工場で検査しているようだよ <p>◎牛乳を製造する人のことも取り上げ、多くの人が関わっていることに目を向けるようにする。</p> <p>④関わっている人には、どんな願いがあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● みんなにおいしく飲んでほしい <p>→全部の人が、牛乳の鮮度を大切に、早く、衛生的に届けてくれているんだね。</p>	<p>2. 関わる人々(イラスト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● さく乳する酪農家 ● 生乳[*]を運ぶ人 ● 工場で検査する人 ● 工場で容器詰めする人 ● 配達する牛乳屋さん ● 検品する調理員さん <p>3. 安全・衛生で気をつけていること(イラスト)</p>
つなげる	<p>⑤牛乳以外のものはどうでしょうか。</p> <p>→今日の給食にはどんな食材が使われていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご飯はお米だね <p>→米は、野菜は、どんな人が、どのように関わっているのか考えてみましょう。</p>	

※生乳：牛からしぼったままの「乳」のこと

評価の観点

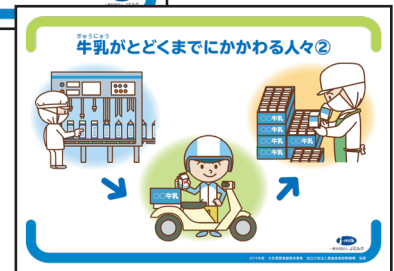
牛乳などの農産物が生産され、手元に届くまでには、多くの人の思いや願いが関わっていることに気付くことができたか。

掲示教材

1. クイズ(イラスト)



2. 関わる人々(イラスト)



3. 安全・衛生で気をつけていること(イラスト)



講評

- 小学校3年生では、地域に見られる生産や販売の仕事として、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていること、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解することが学習内容となっています。本指導では、給食に出る牛乳を通して、それが手元に届くまでに多くの人が関わり、願いをもって取り組んでいることに目を向けるようになっており、社会科の学習をより充実させる指導です。
- 短時間指導では、どのように、どうして、なぜを問いかける時間が十分に取れません。そこで、何・どこ・だれを聞いたり、視覚的に支援したりする掲示物やクイズが大きな意味をもちます。本指導では、本題に早く入るための冒頭のクイズが効果を発揮します。
- 牛乳が手元に届くまでを、牧場を起点に、どこで・だれが・何をしているのか、関わる人に広げていく指導過程を通して、子どもたちは牛乳の向こう側の人の存在や工夫、願いに目を向けていきます。
- 本指導をきっかけに他の農産物に関わる人の存在や工夫、願いに目を向けることができます。

【監修・評価】

武庫川女子大学教育学部教育学科 准教授 藤本勇二 先生